

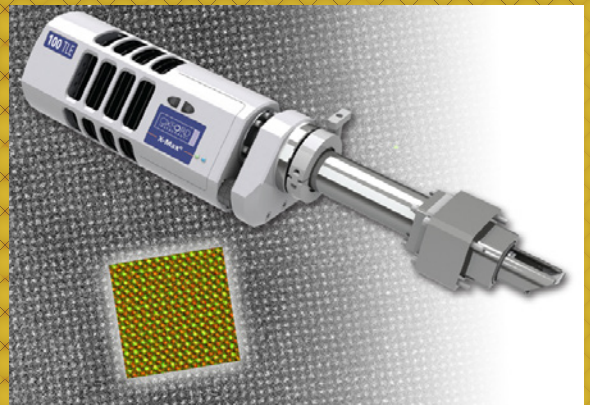


医療工学応用を指向した生体ナノ構造体解析技術と
次世代クライオ電子顕微鏡開発を実現する
拠点構築に向けた調査研究

第4回クライオTEMセミナー

講義内容

「クライオTEMにむけた エネルギー分散型 X線分析(EDS)の 分析手法の現在」



講師：森田 博文 氏 (オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社)

従来のEDS分析に比べて近年ではSDD素子と高立体角を組み合わせたEDS分析が主流になってきている。さらに低エネルギーの感度向上のために、SDD素子とTEMのカラムとを遮蔽するウインドウをなくしたウインドウレスEDS検出器の登場で、軽元素の検出も大幅に改善された。クライオTEMでの分析には、クライオプローバーを用いて目的の試料位置をピックアップするなどの手法も組み合わせられている。最新のEDS検出器とクライオピックアップを組み合わせた現在の分析例を紹介する。

日時・場所

2018年1月16日 (Tue.) 15:30~16:30



国立研究開発法人 物質・材料研究機構
千現地区 第2会議室

会場へのアクセス

TX「つくば」駅下車 A3 出口より徒歩 15 分
または NIMS 定期便をご利用下さい

入場無料

申込不要

※当日受付にてお名前の
記入をお願いいたします。